

## 編集後記

台風 15 号が 9 月 9 日に千葉県千葉市付近に上陸し、千葉県を中心に甚大な被害をもたらしました。その被害からまだ立ち直れない 10 月 12 日に台風 19 号が静岡県伊豆半島に上陸し、関東地方から甲信越地方、東北地方の各県に記録的な大雨をもたらした。多数の河川の氾濫を引き起こしました。台風としては初めて特定非常災害に指定され、災害救助法が 391 自治体に適応される等、その被害の規模はあまりに大きく、本号が出る頃はまだ災害の痕は多く残されていると思います。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は 7 月に西日本豪雨により岡山県倉敷市を中心に大変な被害がでました。また今年の 7 月には九州南部の鹿児島市周辺が大雨に見舞われました。このまま地球の温暖化が進めば強大台風が日本に複数上陸する危険性が指摘されています。子どもたちに残す未来はどのような世界になるのでしょうか。

本号の特記したい記事は、「小児科」編集委員会による「雑誌『小児科』の 60 年で読み解く小児科学のあゆみ」と題した座談会です。本誌創刊号には当時の編集委員が編集方針を述べた座談会が掲載されておりますが、現在の小児医療をよく言い得ており、その卓越した見識には驚かされます。創刊から 60 年を経た今回の座談会がどのようなメッセージを残せるのか、編集委員としては気になるところであり、

新たな小児科学の流れにつながる事を期待しています。

今月の特集は「健やか親子 21 と成育基本法」です。「健やか親子 21」は、2001 年度から始まった母子保健における国民運動計画であり、2015 年度から第 2 次が実施されています。今後さらに少子高齢化が進行し、人口減少も同時に進んでいくわが国にとって、将来を担う小児の位置づけは重いものであり、小児医療に並び小児保健が重要になります。第 2 次の目標である「すべての子どもが健やかに育つ社会」は、日本の切実な希望を表しており、その実現を後押しするのが「成育基本法」と言えます。母子保健の現場で精力的に活躍されている方々により簡潔にまとめられていますので、小児医療に携わる皆様には是非お読みいただきたい特集です。

綜説欄には「離乳食と口腔発達」、「Alport 症候群の診断と治療」、そして「小児けいれん重積治療ガイドラインが、わかりやすく概説されています。

診療欄の「小児プライマリ・ケアにおけるオンライン診療の経験」は今後の小児科診療の可能性を示すものであり、興味深い論文です。小児保健欄、トピックス欄、症例欄、いずれも力作ぞろいです。

まだ台風が発生するリスクは続きますが、これ以上の被害が出ない事を祈念しています。

(河野 陽一)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄（ABC 順）

## 小児科

第 60 巻 第 12 号 11 月増大号  
2019 年 11 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）  
定価（本体 4,400 円＋税）

年間購読料金  
定価（本体 42,100 円＋税）  
〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕  
〔年間予約購読者に限り送料無料〕  
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社  
発行者 福村直樹  
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14  
Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕  
Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕  
Fax 03(3813)0288  
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>  
振替口座 00130-1-191269  
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005  
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。